

サーモンづくし

5月24日(日)



1パック

1,000円 (税込)



西田鮮魚店

☎72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

ここ最近、暑かったり寒かったり、調整が難しい季節です。私は寒いのが苦手なので、とてもいい季節になりました。

本日の広告は、サーモンづくし。サーモンづくし、昔はよくあつたんよー、とは聞きますが、私が鮮魚に入って広告になったことはありません。ですの、かなり久しぶりの広告です!! 価格高騰でサーモンも高くなっています。そんな中、お買得で販売します。

生サーモン、塩炙り、中でも1番人気スーパーマヨサーモン。オニクラと炙りマヨの相性がたまりません。そして、中巻。鮮魚では、細巻き、太巻き、中巻も販売する事がなく、ひと口でパクツといけます。こちらもオニクラと、カイワレ、サーモンとお楽しみ下さい。

雨も続きますが、サーモン好きの皆さんお集まりください。

ご来店お待ちしております。

西田鮮魚店 副店長 越道 裕子

『ナビとお風呂と神座と』かむくら

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



宝塚の日本料理 木曽路で、孫娘の一才の誕生を祝ったあと、らぼーと甲子園で、ファーストシューズを買い、宝塚ホテルに一泊、花のみちを散策し、カロスキューマでイタリアンを堪能した悦子と私は、翌朝、駅前のかりーカフェで軽い朝食をとって大阪に向かった。

I お風呂

実は、築20年になる我が家の風呂の床のタイルがはがれ、ひどいことになっている。この漏れている水はどこに流れていつているのかと悦子が気味悪がっていた。修繕しなければ、と思いながらもそのままにしていた。

しかし、少しずつ広がっていく。さすがに私も重い腰をあげざるをえなくなった。悦子は床のタイルを貼りがえるくらいにしか思っ てなかったが、私はそうはいかない。「どうせやるなら：：」。そう考えるのが私の良いところでもあり悪いところでもある。この家を建ててくれた小林建設に電話した。岡崎さんと近藤さんが駆けつけてくれた。

とりあえず、予算も何も考えず、思いのたけを話す。

「こんなバスタブで：：」「こんな壁で：：」夢は広がる。もう修繕でなく、一から作り直す勢いだ。いつものことながら悦子はハラハラしながら横で聞いている。だいたい後で叱られる。「何を考えとるん」。わかつてる。わかつてるけど、そうやってしまう。

「せっかくやるんじゃけえ」。そうやって店を作ってきた。

2回目からは近藤さんが一人でくるようになった。彼は、そんな私の話をうなずきながら聞いてくれる。聞くと、若いころ東京の住宅会社で仕事をしていたという。そのころ、ひとり、私みたいな希望を語るお客がいたのだとか。そのお客に彼は、ユニットではないオリジナルな風呂を提案して喜んでもらったことがあるのだそう。その会社のショールームが大阪にあるので見に行きませんかと言う。願ってもないこと。宝塚からすこし足を延ばして見に行くことにした。せっかくだからとユニットバス最大のTOTOのショールームも見ること：：。

大阪駅の『グランフロント』と『ルクア』の前の『うめきた広場』で1時半に会うことにした。

II 大阪とナビ①

そういうわけで宝塚を出た私たちは『大阪駅駐車場』とナビに入れホテルを出た。30分も走ったろうか大阪駅前に着いた。意外に近い。着いたけどここからが：：。

「目的地に着きました」とナビは言うのだけど、「どこ？どこが？」悦子が「あれじゃあないん？」「えっ、どこ？」と言ったときには通り過ぎている。私もいろんな町を運転したけど、ほんとに大阪は走りにくい。一方通行が多いのはまだしも、いたるところ側道だらけで曲がれない。通りすぎてしまう。その繰り返しだ。同じところを何回も周ったことがある。この日は2周目で「あそこにあるよ！」という悦子が見つけた『E』のマークの地下駐車場に車を入れた。ナビの指示した駐車場とは違っていた。ナビの画面には『グランフロント』。止めたのは『ヨドバシカメラ』。どっちみち駅だ。月曜日なのに広い駐車場はいっぱいの車。入り組んだ店内を通って、うめきた広場に出た。

III とうとんぼり神座

朝、ホテルでチャットGPTに尋ねた駐車場の場所のほかに、もう一つ聞いたことがある。「大阪駅周辺の『神座』は？」。神座は道頓堀発祥のラーメン店で、今は100店舗以上あるみたいだ。も

う20年も前、初めて食べた私は完全にはまってしまった。ラーメンなんだがコンソメのようなスープに白菜が、たっぷり入ったラーメンを越えたラーメン。大阪に来ると必ず食べる。探しても食べる。その神座がルクアにある。わき目もふらず真っ直ぐに：：と向かうはずだった。ところがルクアのどこも店は閉まっている。「なんで？」よく見ると11時開店だ。「こんなに人が行き交っているのに？」働き方改革かなんかの影響か？それにしても：：。ジョイフルだって9時半開店だ。仕方ない。ルクアの中をうろろして時間をつぶした。11時になった。エレベーターで神座へ。もう店内はいっぱい。でもラーメン店の回転は早い。すぐに食べることができた。「うまい！」というより「好きだ!!」という方がぴったりだ。ほんとに好きだ。

IV ショールーム

1時半に近藤さんと落ち合い、近くのTOTOのショールームへ。何階だったか忘れたが高層から見おろす大阪の街の壮大なパノラマは私の心を打った。鮮コーポレーションもこんな会社にしたかった。いくつかのタイプのユニットバスを案内してもらった。バスタブだけでなく浴室まで自動洗浄できる機能がついている。夢みたいだ。残念だったのは、イラン戦争で受注がストップしていること。案内してくれた女性が申し訳なさそうに謝る。いやいや、苦情ならトランプ大統領とかモジタバ・ハメネイ師とかに言いたいとこだ。次に行ったオリジナルのお風呂をつくってくれる会社。ここが本命。店に入るなり目にした風呂に私は興奮した。

光沢のある御影石。3、4人は入れそうな広い浴槽。「これじゃ」。私はすぐに靴を脱ぎ浴槽に身を屈めた。「いいねえ」。近藤さんにもここにこだ。悦子は？悦子は向こうの方で知らんふり。「いくら？」「2700万円です」「へえ、ちょっと高いね」ちよつとどころじゃない。秒であきらめた。

他にも見せてもらった。見ながら考えていた。ここまで付き合ってくれた近藤さんには悪いが、やっぱり悦子の言うように、タイルを貼りがえるのがいちゃんかもしれんな。現実を受け入れよう。

V 大阪とナビ②

近藤さんと別れて、ナビへ「自宅に帰る」。あとは帰るだけ。ところが思ったようにいかないのが大阪の道路事情。私の反応が悪いのもあるのだが、曲がるところを見落としてしまう。側道に入っていないければならないのに、本線を走っているから曲がれない。ナビは元の道に引き戻そうとする。私は、いや、このまま行けばまた新しいルートを示してくれるだろうと、そのまま進む。すると悦子が言う。「知らん土地ではナビの言うままに走ったほうがいいよ」それはそうなのだが、ほんとにわかりにくい道なのだ。すこし険悪になりかけた。しかし、40年近く一緒にいる夫婦というものはいいもんだ。お互いに察して口をつぐんだ。元に戻った。

最終的には、悦子の言うとおりになる。たぶん、お風呂も。



KAMUKURA

一回食べたなら
なんじゃこりゃ
二回食べたなら
こりゃうまい
三回食べたなら
もうやめられん

2026年5月24日